

授業科目名		デザイン画	実務経験		○ アパレル企画の実務経験あり			
対象学科	アパレル造形デザイン科、ファッションビジネス科		担当教員	柴田 さと				
学年/学期	1年/前期（通年）	単位数		科目区分	演習			
<b>■授業の目的</b>								
ファッションデザイン画の基礎を身に着け、イメージしたものを視覚化し、他者に伝達するためのスキルを磨く。 また、デザイン表現において柔軟な自己表現力を高める。								
<b>■授業の概要</b>								
基本的な各種服飾アイテムの仕様を観察しながら深く理解し、製品図やスタイル画を描く技術を習得する。 【前期】ヌードボディ、スタイル画、基本着色								
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>								
週	内容	コマ数 (A造)	コマ数 (FB)	学習課題				
1	線画による人物表現	6	2	カリキュラム説明、8等身図形ロボット				
2		6	2	ヌードボディ（前後）				
3		6	2	顔、ヘア、手足パーツ練習				
4		6	2	ヌードボディを使用してペン入れ、着色				
5	スタイル画	6	2	インナー基本				
6		6	2	ベーシックスカート（着色）				
7		6	2	ベーシックパンツ（着色）				
8		6	2	ベーシックスカートシャツ（着色）				
9		6	2	ベーシックジャケット（着色）				
10		6	2	ベーシックワンピース（着色）				
11		6	2	スタイリングイラスト（着色仕上げ）				
12		6	2	スタイリングイラスト（着色仕上げ）				
<b>■テキスト、教材、参考書</b>		<b>■留意事項（履修条件等）</b>						
<テキスト> ファッションデザイン画 改訂版（文化出版局） <教材>※配布分 コピックマーカー、色鉛筆、コピックマルチライナー（0.1、0.5） <教材>※各自用意 A4コピー用紙、文具一式（鉛筆orシャーペン、消しゴム等）		出席率60%以上						
<b>■成績評価の方法</b>		<b>■最終到達目標</b>						
出席状況40%・課題提出物30%・授業態度30% 上記を数値化し100%で評価する。		基本プロポーションボディに、 着装のスタイル画と製品図が描ける。						

授業科目名	ファッショング販売		実務経験	<input checked="" type="radio"/> アパレル販売の職務経験あり				
対象学科	アパレル造形デザイン科		担当教員	産形 友紀				
学年/学期	1年/通期	単位数		科目区分	講義			
<b>■授業の目的</b>								
<p>ファッショング商品知識、販売知識、マーケティング、VMDなどに関するファッショング業界にて必要な基礎知識を身に付ける。ファッショング販売能力検定3級の受検対策。</p>								
<b>■授業の概要</b>								
<p>主に教科書とパワーポイントを使用し、前期は、ファッショング商品の由来や名称を解説。 後期は、販売知識、マーケティング、VMDなど 売り場におけるファッショングビジネスの基礎知識の習得を目指す。</p>								
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	販売員の必須スキル	3	職業人としての心構え・ファッショング販売員の必須能力・ ファッショング用語の理解					
2	アパレル商品の分類	3	ファッショングの歴史・アパレルの分類・ファッショング感性の 3要素					
3	アイテムの知識「シャツ・ブラウス」	3	定義、分類、名称、ディテール名称					
4	アイテムの知識「ニット・カットソー」	3	定義、分類、名称、ディテール名称					
5	アイテムの知識「スカート」	3	定義、分類、名称、シルエット、ディテール名称					
6	アイテムの知識「パンツ」	3	定義、分類、名称、シルエット、ディテール名称					
7	アイテムの知識「ワンピース」	3	定義、分類、名称、シルエット、ディテール名称					
8	アイテムの知識「ジャケット・コート」	3	定義、分類、名称、ディテール名称					
9	アイテムの知識「サイズ・品質表示」	3	婦人服、紳士服、子供服					
10	アイテムの知識「紳士服」	3	定義、分類、名称、ディテール名称					
11	アイテムの知識「子供服」	3	定義、分類、名称、ディテール名称					
12	テスト前対策	3	模擬テスト・解答解説					
13								
14								
15								
<b>■テキスト、教材、参考書</b>		<b>■留意事項（履修条件等）</b>						
「ファッショング販売能力検定3級公式テキスト」 「ファッショング販売能力検定3級公式問題集」（一般財団法人 日本ファッショング教育振興協会）		日頃からファッショング商品をリサーチすること						
<b>■成績評価の方法</b>		<b>■最終到達目標</b>						
出席状況20%・授業態度30%・課題/テスト50% 総得点を5段階にし、評価表に照らし合わせる		ファッショング販売能力検定3級取得						

授業科目名	素材論	実務経験	○ アパレル企画の職務経験あり					
対象学科	アパレル造形デザイン科 ファッショングビジネス科	担当教員	柴田さと					
学年/学期	1年/(前期) 通年	単位数	1	科目区分	講義			
<b>■授業の目的</b>								
<p>素材の成り立ちを理解し、服の基礎となる素材知識を習得する。</p> <p>素材の特性を知り、ファッション販売に必用な取り扱い説明や作品制作の際に適した素材選び、効果的な生地選びが出来るようになる。</p>								
<b>■授業の概要</b>								
素材の種類、糸、織機、生地についての講義								
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	アパレル素材について	1	カリキュラム説明、繊維分類表、生地の裏表と地の目について					
2	天然素材	1	植物系—綿、麻（歴史、長所短所、テキスタイル）					
3		1	動物系—①絹（歴史、長所短所、テキスタイル）					
4		1	動物系—①毛（歴史、長所短所、テキスタイル）					
5		1	再生繊維、半合成繊維（歴史、長所短所、テキスタイル）					
6	化学繊維	1	合成繊維（歴史、長所短所、テキスタイル）					
7		1	繊維についての復習プリント					
8	糸について	1	短繊維、長繊維					
9		1	撚糸、意匠糸					
10	織機について	1	構造と種類					
11	復習	1	前期総まとめ					
<b>■テキスト、教材、参考書</b>		<b>■留意事項（履修条件等）</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業ごとにプリント配布</li> <li>回によって生地配布有り</li> <li>服地の基本が分かるテキスタイル事典（ナツメ社）</li> </ul>		<p>出席率60%・課題提出・期末テスト60点以上で</p> <p>授業で習った素材は、名称だけで覚えず実際の生地に触れて知識を深めること。配布プリントは指定のファイルに入れ、いつでも提出できるように管理。</p>						
<b>■成績評価の方法</b>		<b>■最終到達目標</b>						
テスト40%・出席状況30%・授業態度30% 上記を数値化し100%で評価する。		素材の特性を理解し、素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方法について説明できる。						

授業科目名	ファッショントリソース		実務経験	<input checked="" type="radio"/> パタントナーの職務経験あり	
対象学科	アパレル造形デザイン科・基礎科1年生 ファッショントリソースビジネス科1年生		担当教員	藤井	
学年/学期	通年/後期	単位数	1	科目区分	講義

### ■授業の目的

社会情勢の移り変わりに伴う現地の服飾文化の変遷を時系列で理解する。

また、それをリソースとして現代のデザイナーコレクションを展開している事を知る

### ■授業の概要

現在のコレクションに、過去の流行がどの様に取り入れられているのかをリサーチ。コラージュ作成やデザイン発想などを行いアウトプットを行う。また、衣装の名称を学び、ファッショントリソースの知識を深める

週	内容	コマ数	学習課題
1	第一次世界大戦後の欧米諸国	2	ミリタリー
2	1920年代	2	アール・デコ
3	1930年代~1945	2	エルザ・スキャパレリ
4	1945年~1950年代	2	クリスチャン・ディオール
5	1950年代のアメリカンファッショントリソース	2	ロカビリーファッショントリソースについて
6	1960年代 ロンドンのファッショントリソース	2	モップス、ミニスカート旋風について
7	1960年代 若者の時代	2	ヒッピーファッショントリソース
8	1970年代 日本のファッショントリソース	2	高田賢三、三宅一生など
9	1970年代 ロンドンのファッショントリソース	2	パンクファッショントリソースについて
10	1980年代 パリのファッショントリソース	2	カル・ラガーフェルド
11	1980年代 日本のファッショントリソース	2	川久保玲、山本耀司など
12	1990年代~2000年代のファッショントリソース	2	ミニマリスト、グランジファッショントリソース
13			
14			
15			

### ■テキスト、教材、参考書

### ■留意事項（履修条件等）

授業内で配布  
のり、はさみ

欠席等で授業を受けられなかった際、配布物などを次回の授業日までにもらっておく。

### ■成績評価の方法

### ■最終到達目標

出席率：20%  
授業態度・積極性：20%  
提出課題：30%  
テスト：30%

知識を深め、興味を持った事を追求する力を付ける。  
リソースを基にした、クリエーションが出来るようになる

授業科目名	ファッション販売		実務経験	<input checked="" type="radio"/> アパレル販売の職務経験あり				
対象学科	アパレル造形デザイン科		担当教員	産形 友紀				
学年/学期	1年/通期	単位数		科目区分	演習			
■授業の目的								
ファッション商品知識、販売知識、マーケティング、VMDなどに関するファッション業界にて必要な基礎知識を身に付ける。ファッション販売能力検定3級の受検対策。								
■授業の概要								
主に教科書とパワーポイントを使用し、前期は、ファッション商品の由来や名称を解説。 後期は、販売知識、マーケティング、VMDなど 売り場におけるファッションビジネスの基礎知識の習得を目指す。								
■具体的な授業計画及び学習課題								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	ファッション販売知識	3	販売スタッフの資質、お客様の知識、販売スタッフの業務					
2	販売スタッフの基本マナー①	3	あいさつ・お辞儀/敬語・言葉遣いについて 電話応対、メールのマナー					
3	販売スタッフの基本マナー②	3	購買心理と販売員の接客アウトライ ン 包装について、贈答のマナー					
4	売り場づくり	3	VMDについて マーチャンダイズプレゼンテーション/陳列の基本/什器の種類					
5	マーケティング	3	マーケティングの基礎知識 ファッション小売業の業種・業態/店舗マーケティングの重要性					
6	店舗運営管理	3	販売業務と付帯業務、商品管理、キャリアプラン					
7	店舗計数管理	3	計数管理、予算管理					
8	過去問	3						
9	過去問	3						
10	過去問	3						
11	過去問	3						
12	検定振り返り・学年末テスト対策	3						
13								
14								
15								
■テキスト、教材、参考書		■留意事項（履修条件等）						
「ファッション販売能力検定3級公式テキスト」 「ファッション販売能力検定3級公式問題集」（一般財団法人 日本ファッション教育振興協会）		日頃からファッション商品をリサーチすること						
■成績評価の方法		■最終到達目標						
出席状況20%・授業態度30%・課題/テスト50% 総得点を5段階にし、評価表に照らし合わせる		ファッション販売能力検定3級取得						

授業科目名		立体裁断 1 前期		実務経験	○ デザイナー、パターンナーの職務経験あり			
対象学科	アパレル造形デザイン科		担当教員	加藤みか				
学年/学期	1年/通年	単位数	※マネージャーが入力	科目区分	演習			
<b>■授業の目的</b>								
パターンナーとしての知識・技術・創造力を養う 平面製図と立体製図双方の良し悪しを理解し、デザインに因り使い分け活用する								
<b>■授業の概要</b>								
直接ボディにアプローチすることにより、既存の概念にとらわれず製図を理解する 平面で演習済みの製図を、立体という別の視点から捉えることに因り、パターンを深く理解する 立体製図の基礎的な手順を理解する								
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	ボディを包む(1パーツで作る)		立体を理解する					
2			ピンの打ち方					
3			自由にボディを包む					
4	パターンにする		合印					
5			点から線へ。線を選ぶ					
6			ドラフティング					
7	新作コレクションから							
8	・タイトな見頃		身体の空間を意識する					
9	・膨らんだ袖		新しい形を考える					
10								
11	・フレアー							
12								
<b>■テキスト、教材、参考書</b>			<b>■留意事項（履修条件等）</b>					
			シラバスを熟知し、時間管理をすること 成果を写真・データで残すこと、またその方法を考慮すること					
<b>■成績評価の方法</b>			<b>■最終到達目標</b>					
出席状況20%・授業態度10%・授業内容の理解度20%・作品30%・ テスト20% 上記を数値化し100%で評価する			製図の基礎的な構造の把握ができる 立体製図の基礎的な手順を理解できる					

授業科目名	ファッショナリソース (西洋服装史)		実務経験	<input checked="" type="radio"/> パタンナーの職務経験あり		
対象学科	アパレル造形デザイン科・基礎科1年生 ファッショングループビジネス科1年生		担当教員	藤井		
学年/学期	通年/前期	単位数	1	科目区分 講義		
<b>■授業の目的</b>						
<p>社会情勢の移り変わりに伴うヨーロッパの服飾文化の変遷を時系列で理解する。</p> <p>また、それをリソースとして現代のデザイナーコレクションを展開している事を知る</p>						
<b>■授業の概要</b>						
<p>写真を切り貼りし、時代背景の説明やイメージを指定のノートにまとめ年表を作成。</p> <p>また、衣装の名称を学び、ファッション用語の知識を深める。</p>						
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>						
週	内容	コマ数	学習課題			
1	衣服の起源 古代	2	衣服の基本形、オリエント			
2	古代	2	古代ギリシャ・ローマ帝国			
3	中世（5～12世紀）	2	ビザンティン帝国・ロマネスク			
4	中世（13～15世紀）	2	ゴシック時代			
5	16世紀	2	ルネサンス時代			
6	17世紀～18世紀	2	バロック・ロココ時代			
7	近代（18世紀末～19世紀）	2	フランス革命期・王制復古			
8	近代（19世紀末）	2	ペルエポック			
9	コレクションリサーチ	2	西洋服装史をリソースとしてコレクションについてリサーチ			
10	コラージュ制作	2	コラージュとデザイン			
11						
12						
13						
14						
15						
<b>■テキスト、教材、参考書</b>		<b>■留意事項（履修条件等）</b>				
授業内で配布 のり、はさみ		<p>欠席等で授業を受けられなかった際、配布物などを次回の授業日までにもらっておく。</p> <p>出席率：60%、課題提出：100%、テスト：60%</p>				
<b>■成績評価の方法</b>		<b>■最終到達目標</b>				
出席率：20% 授業態度・積極性：20% 提出課題：30% テスト：30%		知識を深め、興味を持った事を追求する力を付ける。 リソースを基にした、クリエーションが出来るようになる				

授業科目名	アパレルメーキング I		実務経験	<input checked="" type="radio"/> パタunnerの職務経験あり
対象学科	アパレル造形デザイン科／アパレル基礎科		担当教員	藤井 聖子
学年/学期	1年/通年（前期）	単位数		科目区分
<b>■授業の目的</b>				
服飾造形における基礎知識・縫製技術の習得。				
<b>■授業の概要</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業は、パターンメーキング I とアイテムソーイング I の二つに分かれる。</li> </ul> <p>パターンメーキング I では、基本アイテムのパターンメーキングとトワル制作、アイテムソーイング I では縫製を行う。年間制作アイテムは、スカート、シャツ、パンツ、ワンピース、ジャケット（パターンまで）。</p>				
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>				
週	内容	コマ数	学習課題	
1	スカート	パターンメーキング	9	・スカートについて・実寸タイツスカート原型・トワル組・1/4製図書き方説明
2		パターンメーキング	9	・フレアスカート展開・トワル組・スカーバリエーション1/2製図
3		アイテムソーイング	9	フレアスカート製図・トワル
4		アイテムソーイング	9	工業用パターン、パターンチェック、パターンカット
5	ブラウス	アイテムソーイング	9	スカート縫製
6		アイテムソーイング	9	スカート縫製
7		パターンメーキング	9	・シャツ製図・トワル
8		パターンメーキング	9	・シャツ工業用パターン
9		アイテムソーイング	9	・シャツ縫製
10		アイテムソーイング	9	・シャツ縫製
11		パターンメーキング	9	・ブラウスバリエーション Aライン、ギャザー
12		パターンメーキング	9	・ブラウスバリエーション ベプラム・ワイドシルエット
13				
14				
15				
16				
17				
18				
<b>■テキスト、教材、参考書</b>			<b>■留意事項（履修条件等）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>服飾造形の基礎</li> <li>服飾造形講座①スカート・パンツ</li> <li>服飾造形講座②ブラウス・ワンピース</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻欠席の場合 授業期間中は授業時間外での補講は行いませんので、休憩時間、SWOT timeなどを利用し各自進めます。質問は実習時間中または休憩時間中に対応可能。</li> </ul>	
<b>■成績評価の方法</b>			<b>■最終到達目標</b>	
出席状況20%・授業態度30%・提出物/作品/レポート/テスト等50%			<ul style="list-style-type: none"> <li>基本アイテムのパターンメーキング、トワル制作、縫製の手順を正しく理解し、制作できる。</li> <li>ミシンやアイロンなどの各種機器の正しい使用がされること。</li> </ul>	

授業科目名	色彩	実務経験	<input checked="" type="radio"/> カラーコーディネーターの職務経験あり
対象学科	ファッションビジネス科/アパレル造形デザイン科	担当教員	久田 香奈
学年/学期	1年 / 前期	単位数	科目区分 講義
<b>■授業の目的</b>			
ファッションにおいても、色の組み合わせで印象が全く変わることを感じているでしょう。この授業では、感覚的に捉えがちな色にも、しっかりととした理論の上に成り立っていることを学び、客観的に色を捉えるように、色の基礎を学びます。			
<b>■授業の概要</b>			
テキストを主体に、講義とプリントで行います。また、カラーワークを通して視覚的に学びます。			
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>			
週	内容	コマ数	学習課題
1	色の基本	2	色って何?
2	色の基本	2	色の表示(三属性)
3	表色系(PCCS)	2	三属性(色相・明度・彩度)
4	表色系(PCCS)	2	トーン
5	色彩心理	2	色の心理効果
6	色彩心理	2	色の心理効果・視覚効果
7	色彩心理	2	色の視覚効果
8	色彩調和	2	配色の基本(色相配色)
9	色彩調和	2	配色の基本(色相配色・トーン配色)
10	色彩調和	2	配色の基本(トーン配色)
11	色彩調和	2	配色の基本技法
12	前期総復習	2	
13			
14			
15			
<b>■テキスト、教材、参考書</b>		<b>■留意事項(履修条件等)</b>	
AFT色彩検定 公式テキスト3級 199a新配色カード のり ハサミ スケッチブック		忘れ物がないように受講してください	
<b>■成績評価の方法</b>		<b>■最終到達目標</b>	
出席状況	20%	文部科学省後援 AFT(社)全国服飾教育者連合会 色彩検定3級合格	
授業態度	20%		
提出物・テスト等	60%		

授業科目名	デザインPC		実務経験	<input checked="" type="radio"/> ウェブデザインの職務経験あり				
対象学科	2年生		担当教員	寺西 由佳				
学年/学期	2年 / 前期	単位数		科目区分	実習			
<b>■授業の目的</b>								
IllustratorとPhotoshopの基本操作の習得。その上でふたつのアプリケーションを使い分け、データを制作できるようになること。また手書きのパターンをアプリケーションを用いてグラフィックデータにて制作し、企業へ提出します。								
<b>■授業の概要</b>								
製品図の制作練習を中心に、デザイン画や撮影写真の補正について学び、後期のポートフォリオ制作への準備をしていきます。また、「テキスタイル」授業で制作するパターンをグラフィックデザインへ落とし込むこと。								
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	復習：illustratorとPhotoshop	3	各ソフトの復習をします。それぞれのソフトの特徴への理解を深めます。					
2	製品図制作準備 / 製品図の制作Ⅰ①	3	基本操作を学び、サンプルの製品図を使って、Illustratorで製品図が描けるように練習します。					
3	製品図の制作Ⅰ②	3	また、生地などの画像を組み合わせより良く見せる方法を学びます。					
4	デザイン画 / 手書きイラスト取り込みと補正	3	スキャニング後の処理やイラレオブジェクトへの変換などを学びます。					
5	パターン制作練習	3	パターン制作の基本と応用を学びます。					
6	レポートの制作①	3	IllustratorとPhotoshopを組み合わせた課題を通して、1枚の書類を作る基本的な操作やコツを学びます。					
7	レポートの制作②	3	※「テキスタイル」授業と連携予定					
8	パターン制作 本番①	3	「テキスタイル」授業と連携し、パターンモチーフをデジタル加工し、企業へ入稿するデータにて制作します。					
9	パターン制作 本番②	3						
10	製品図の制作Ⅱ①	3	自分で描いた製品図を、Illustratorを使って仕上げていきます。					
11	製品図の制作Ⅱ②	3						
12	テスト	3	基本的操作のテストを行います。					
13								
<b>■テキスト、教材、参考書</b>		<b>■留意事項（履修条件等）</b>						
テキスト・教材は随時配布		テキストは毎回持参、分からることは見返すことができるようになります。テキストには全ての手順を明記していません、必要な場合は必ずメモを取ること。順を追って技術のレベルアップを図っているため、欠席時の内容はテキストを理解し自分で進めること。努力した上で分からなかった点に関しては授業内にてマンツーマンにて指導していきます。						
<b>■成績評価の方法</b>		<b>■最終到達目標</b>						
課題評価 60% 出席授業態度 40%		IllustratorとPhotoshopの使い分けが出来、両方のソフトを使って製品図を配置した書類の作成ができるようになります。「テキスタイル」授業で制作するパターンをグラフィックデザインへ落とし込むこと。						
※課題評価は制作条件のクリアと期日内提出を基本とし、優れた作品には追加点を加えます								
※授業態度には履修内容の理解度も含みます								

授業科目名	アパレル企画		実務経験	○ 百貨店バイヤー、パタンナーの職務経験あり				
対象学科	アパレル造形デザイン科		担当教員	渡部・藤井				
学年/学期	2年/前期	単位数	1	科目区分	演習			
<b>■授業の目的</b>								
アパレル企業の企画職（デザイナー）の仕事を想定し、各自のブランドを考案。 マーチャンダイジングの流れを理解し、論理的な思考を持ってブランド企画を行う。また、プレゼンテーションを繰り返し、口頭での説明力につける。								
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>								
市場調査から得た情報を基に、どの様なブランドが求められているのか分析。提案するブランドの、ターゲットや顧客心理をしっかりと理解し、コンセプトに基づいたテーマ性のデザインを考案。 提案内容を企画書に落とし込む。								
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	ポジショニングマップ1	3	企業ごとのポジショニングマップをグループで作成					
2	ポジショニングマップ2	3	選択したブランドのポジショニングマップを作成					
3	SWOT分析	3	選択したブランドのSWOT分析					
4	SWOT分析	3	トレンドリサーチ					
5	トレンドリサーチ・リソース収集	3	リソース収集・					
6	ムードボード・シーズン戦略シート作成	3	ムードボード作成					
7	シーズン戦略・展開アイテムシート作成	3	デザイン画					
8	展開アイテムシート/デザイン画	3						
9	デザイン画	3	資料 (PPT)・デザイン画修正					
10	展開アイテムシート修正/デザイン画	3	資料 (PPT)・デザイン画修正					
11	PP資料作成	3	資料 (PPT)・デザイン画修正					
12	PP資料作成	3	資料 (PPT)・デザイン画修正					
13	PP資料作成	3						
14	プレ最終プレゼンテーション	3	資料・デザイン画最終調整					
15	プレ最終プレゼンテーション	3						
16	プレ最終プレゼンテーション	3						
17	最終プレゼンテーション							
18	最終プレゼンテーション							
<b>■テキスト、教材、参考書</b>		<b>■留意事項（履修条件等）</b>						
<b>■成績評価の方法</b>		<b>■最終到達目標</b>						
・技術習得度、感性…60% ・意欲、態度30% ・出席状況10%								

授業科目名	パターンメイキング2		実務経験	<input checked="" type="radio"/> パタナーの職務経験あり		
対象学科	アパレル造形デザイン科		担当教員	荒川 美恵子		
学年/学期	2年/前期	単位数		科目区分 演習		
<b>■授業の目的</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・『平面から立体へ』…デザイン(平面)を元に実際に着る服(立体)を作るためのパターン技術と知識を実践的に習得。(完成形をイメージしながら製図する感覚を身につける)</li> <li>・トワル組みにおいて、バランスの取り方、トワルの見方を学ぶ(感性の向上)</li> </ul>						
<b>■授業の概要</b>						
<p>[基本演習] 課題のパターン作成、半身1stトワル組、2nd、3rd…と修正を繰り返し、完成度をあげる  トワルチェック→シルエット、ディティールバランス、完成度チェック  最終パターン作成→形状、線の質、つながり、縫い合せチェック</p>						
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>						
週	内容	コマ数	学習課題			
1	ブラウス	3	ギャザー、カジュアル袖、など			
2	〃	3				
3	〃	3				
4	基本パンツ→グレーディング	3	レディス9号原型～グレーディング演習			
5	各自パンツ原型	3	各自原型両身トワル着用チェック→補正			
6	パンツアレンジ	3	オリジナルパターン作成			
7	〃	3	→両身頃トワル着用チェック			
8	〃	3				
9	〃	3				
10	ワンピース	3	ダーツ分を切替に移動			
11	〃	3	シルエット、バランスのとり方などを			
12	〃	3	トワル組、修正を通して学ぶ			
13						
14						
15						
<b>■テキスト、教材、参考書</b>		<b>■留意事項（履修条件等）</b>				
		<p>ポイントは必ずまとめをして次に活かす準備をしておくこと。（ノートにまとめる）  欠席、遅刻は、ほかの学生の授業進行の妨げになるので、極力しないよう体調管理には十分注意すること。</p>				
<b>■成績評価の方法</b>		<b>■最終到達目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術習得度、感性…60%</li> <li>・意欲、態度30%</li> <li>・出席状況10%</li> </ul>		<p>基本アイテムのパターン作成が出来る  トワルのバランスを正しく見ることが出来る  イメージ通りの形にトワルが組める</p>				

授業科目名		アパレルメーキング	実務経験	<input checked="" type="radio"/> パタナーの職務経験あり				
対象学科	アパレル造形デザイン科		担当教員	濱田 麻利亞				
学年/学期	2年生/前期	単位数		科目区分	演習			
■授業の目的								
基本的なジャケットの縫製を学ぶ 3面ジャケットの複雑な工業用パターンをしっかり理解する。 裏仕立てについては総裏を学ぶが、季節や布地に合わせて制作できるようになる事。								
■授業の概要								
3面ジャケット縫製工程（工業用縫製）を理解する 布地に対してのゆとりの取り方やウールの扱いの習得								
■具体的な授業計画及び学習課題								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	授業説明と工業用パターン	6	身頃（表地・裏地）					
2	工業用パターン	6	2枚袖（表地・裏地）、表衿・裏衿					
3	裁断	6	表地					
4	裁断	6	裏地、芯地、芯とテープ貼り					
5	縫製	6	ポケット、表地身頃					
6	縫製	6	裏地身頃、表裏縫い合わせ					
7	縫製	6	2枚袖作成					
8	縫製	6	袖付け、どんぐり縫い					
9	縫製、仕上げ	12	まつり縫い、釦付け、ボタンホール					
10	進級制作 パターン	12						
11	進級制作 パターン	12						
12	進級制作 パターン	12						
13								
14								
15								
■テキスト、教材、参考書		■留意事項（履修条件等）						
文化教科書（ジャケット） 縫製工程表（図解） 筆記用具、製図用具 裁縫道具		素材（ウール）に対するアイロンかけや縫製のこつを理解し、ジャケット縫製を習得する 目標工程までは隨時、swotなどを利用して進めておく						
■成績評価の方法		■最終到達目標						
出席状況…10% 授業態度…40% 理解度、作品完成度…50%		制作したいジャケットのデザインや素材によって、どのようなパターン・縫製手順が良いのか考えられるようになる。途中工程を手を抜かずにきっちり仕上げる						

授業科目名		パターンメイキング検定2級検定対策		実務経験	<input type="checkbox"/> パタナーの職務経験あり			
対象学科	アパレル造形デザイン科		担当教員	濱田 麻利亞				
学年/学期	2年生/前期	単位数		科目区分	講義			
<b>■授業の目的</b>								
検定に合格する為、過去問をこなして出題形式にも慣れていく。 業界・グレーディング・素材の基礎知識の振り返りをして定着させる。 ジャケットの製図の流れを理解し規定時間内に完成させる感覚も身に付ける。								
<b>■授業の概要</b>								
マークシートと1/2製図は過去問を繰り返しデザインのバリエーションにも対応できるようにする。 実技も過去問を繰り返し時間内の製図、トワル組み、ファーストパターンまで仕上げれるようにする。								
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	検定説明とマークシート	3	マークシート問題説明、縫い代付け					
2	ジャケット製図の振り返り	3	4面ジャケット					
3	過去問	3	4面パネル					
4	過去問	3	プリンセスライン					
5	過去問	3	ペプラム切り替え					
6	製図グレーディングと縫い代付け	3						
7	J Kバリエ(衿、ポケット)	3	ノーカラー、ピークドラペル、胸ポケ					
8	模擬試験	3	時間配分					
9	模擬試験	3	時間配分					
10	最終確認、準備と補講	3						
11	実技解説	3	ダーツ分散、4面ジャケット					
12								
13								
14								
15								
<b>■テキスト、教材、参考書</b>		<b>■留意事項（履修条件等）</b>						
過去問		基本ジャケットの製図構成をしっかり振り返っておく。 模擬試験の点数不足によっては補講						
<b>■成績評価の方法</b>		<b>■最終到達目標</b>						
出席状況…10% 授業態度…30% 理解度、模擬試験結果…60%		検定に合格する。 製図やグレーディングに特化して振り返る事ができるので ジャケットの基礎製図をしっかり理解できる。						

授業科目名	アパレルメイキングII（進級作品製作）			実務経験	<input type="radio"/> パタンナーの職務経験あり			
対象学科	アパレル造形デザイン科2年			担当教員	藤井・濱田			
学年/学期	後期	単位数	11	科目区分	実習			
<b>■授業の目的</b>								
商品製作という意識を持ち、トレンド性のあるシルエット、また着こごちを考慮した製図。服の構造を理解した仕様を取り入れる。縫製においては、商品である事から技術の高さが求めらる。4~6アイテムの製作を各自スケジュールを組み進行する。								
<b>■授業の概要</b>								
アパレル企画の授業で企画した5スタイリングの内、2スタイリングの製作。 2月に行われる、展示・物販イベントの進級作品へ向けた製作。								
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	アイテム1の製図・トワル	13.5						
2	アイテム1 工業用・裁断	13.5						
3	アイテム1 縫製	13.5						
4	アイテム1 縫製	13.5						
5	アイテム2の製図・トワル	13.5						
6	アイテム2 工業用・裁断	13.5						
7	アイテム2 縫製	13.5						
8	アイテム2 縫製	13.5						
9	アイテム3の製図・トワル	13.5						
10	アイテム3 工業用・裁断	13.5						
11	アイテム3 縫製/divka特別講義作品	13.5	※木4~6限：divka特別講義作品製作					
12	アイテム3 縫製/divka特別講義作品	13.5	※木4~6限：divka特別講義作品製作					
13	仕上げ作業	13.5	※木4~6限：divka特別講義作品製作					
14								
15								
<b>■テキスト、教材、参考書</b>		<b>■留意事項（履修条件等）</b>						
		計画通り進むよう、SWOTの時間を利用して製作する						
<b>■成績評価の方法</b>		<b>■最終到達目標</b>						
出席率：20% 計画性：30% 製品の完成度：30% テスト：20%（JK製図・トワル組まで）		後期終業式までに、すべてのアイテムを完成させる						

授業科目名	卒業作品製作		実務経験	<input checked="" type="radio"/> 百貨店勤務、バタンナー、アパレル企画の職務経験あり				
対象学科	アパレル造形デザイン科3年生		担当教員	村上・藤井・柴田				
学年/学期	通年	単位数		科目区分	実習			
<b>■授業の目的</b>								
3年間の集大成である作品製作。様々な技法を取り入れた、テーマに基づいた作品表現。また、コンセプトに基づいた動画制作、それらをまとめたポートフォリオを制作し、展示、またプレゼンテーション形式で作品発表を行う。								
<b>■授業の概要</b>								
テーマ[SHIN]に基づいて構築したグループごとのコンセプト、またそれを表現した作品製作を一人2体行う。作品には、マテリアルの工夫、シルエットの工夫を施し、卒業作品としてふさわしい製作を行う。								
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	テーマからコンセプト立案	21	マインドマップ作成・中島さん講義					
2	テーマからコンセプト立案	12	マインドマップを基に、ムード、カラー、シルエット、素材のリソースボード作成 素材作りと並行して、デザイン考案					
3	テーマからコンセプト立案	18						
4	マテリアル・デザイン出し	18						
5	マテリアル・デザイン出し	18						
6	マテリアル・デザイン出し	18						
7	マテリアル・製図	12						
8	マテリアル・製図	9	デザインとマテリアルの適正を考慮しながら 製図を進める。中島さんが来られるタイミング で、トワルチェックを受けデザイン・マテリアルを決定。					
9	マテリアル・製図	9						
10	マテリアル・製図	9	※製図はパターンIIIの時間も行う 仮縫いを進める					
11	マテリアル・製図	9						
12	デザイン決定・仮縫い	9	デザイン決定・本製作へ					
13								
14								
15								
<b>■テキスト、教材、参考書</b>		<b>■留意事項（履修条件等）</b>						
		年内作品完成に向け、計画的に制作を進める。遅れが生じる際は、SWOTを利用して作業を進める。 月に1度、進捗確認を行う						
<b>■成績評価の方法</b>		<b>■最終到達目標</b>						
出席率：20 授業態度・集中力：20% 計画性：30% プレゼンテーション：30%								

授業科目名		立体裁断 2		実務経験	○ デザイナー、パタンナーの職務経験あり					
対象学科	アパレル造形デザイン		担当教員	加藤 みか						
学年/学期	3年/前期	単位数	※マネージャーが入力	科目区分	演習					
<b>■授業の目的</b>										
パタンナーとしての知識・技術・創造力を養う 平面製図と立体製図の違いを理解し、使い分け活用するのみでなく、 創造の手段として立体裁断を活用できるようにする										
<b>■授業の概要</b>										
トップデザイナーの作品を再構築することに因り、デザイン意図・制作過程の理解を深める 平面製図にない自由な手法で、固定概念のないパターンを創作する										
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>										
週	内容	コマ数	学習課題							
1	課題ジャケット		デザイン理解・順序							
2			身頃の構築							
3										
4			テーラーカラー作成							
5										
6			特徴的な二枚袖							
7										
8	品評会									
9	最新のデザインを表現		写真、動画より							
10			特徴的な肩							
11			盛り上がる袖							
12	トワル評価									
<b>■テキスト、教材、参考書</b>		<b>■留意事項（履修条件等）</b>								
		シラバスを熟知し、時間管理を各自すること 欠席した際は、自ら、進捗状況を申告し指示を仰ぐこと								
<b>■成績評価の方法</b>		<b>■最終到達目標</b>								
出席状況10%・授業態度10%・授業内容の理解度30%・作品30% テスト20%で評価する		表現したいものを、的確に・早く・美しくパターン作成できる								

授業科目名		パターンメイキング3		実務経験	<input checked="" type="radio"/> パタunnerの職務経験あり				
対象学科	アパレル造形デザイン科		担当教員	荒川 美恵子					
学年/学期	3年/前期		単位数	科目区分 演習					
<b>■授業の目的</b>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>『平面から立体へ』…デザイン(平面)を元に実際に着る服(立体)を作るためのパターン技術と知識を実践的に習得。2年次よりも難易度の高い応用技術を学ぶことでさらにレベルアップを図る</li> <li>完成度の高い作品、商品作りを目指し、発想力、思考力、表現力を高める</li> </ul>									
<b>■授業の概要</b>									
<p>[基本演習] パターン作成、半身1stトワル組、2ndトワル組、3rdトワル組… 修正を繰り返す  トワルチェック（シルエット重要視、ディティールバランス、完成度チェック）</p> <p>[応用] 立体美の追求</p>									
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>									
週	内容		コマ数	学習課題					
1	アウター（コート、ブルゾンなど）		3	パターン作成					
2			9	パターン作成、トワル組					
3			6	↓					
4			6	両身頃トワル作成					
5			6	修正、最終トワルチェック					
6			6	仕様書作成					
7	↓		6	工業用パターン作成、工程表作成					
8	BFR作品制作		6	パターン作成					
9			6						
10			6						
11			6						
12	↓		6						
<b>■テキスト、教材、参考書</b>		<b>■留意事項（履修条件等）</b>							
		最終学年として、より高みを目指す姿勢でいること。時間を有効利用する意識を持つこと。遅刻、欠席は信用を失う要因のひとつ。体調管理には十分注意すること。							
<b>■成績評価の方法</b>		<b>■最終到達目標</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>技術習得度、感性…60%</li> <li>意欲、態度30%</li> <li>出席状況10%</li> </ul>		完成形をイメージしながら自ら効果的技法を見つけ、形にすることが出来る。 検討を重ね、より完成度の高い作品作りが出来る							

授業科目名	CAD2		実務経験	<input checked="" type="radio"/> パターンナーの職務経験あり		
対象学科	アパレル造形デザイン科		担当教員	荒川 美恵子		
学年/学期	3年/前期	単位数		科目区分 演習		
<b>■授業の目的</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次の基礎操作から、より実践的にスピードアップと効率化を図る操作の習得</li> <li>・CADによるパターン作成技術、知識の習得</li> </ul>						
<b>■授業の概要</b>						
<p>課題パターン作成演習（コマンド操作）          グレーディングなどCADオペレーターの業務内容を実際にを行う</p>						
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>						
週	内容	コマ数	学習課題			
1	原型、ダーツ移動	3	操作の習得、基本的パターン作成の体得			
2		3	コマンドを使ってスピードアップ			
3	定番テーラードジャケット	3	1stパターン作成のスピードアップ			
4		3				
5		3				
6		3				
7		3				
8		3				
9	フレア、ギャザー、タックなどのデザイン展開	3	デザイン展開の操作			
10		3				
11		3				
13						
14						
15						
<b>■テキスト、教材、参考書</b>		<b>■留意事項（履修条件等）</b>				
<b>■成績評価の方法</b>		<b>■最終到達目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術習得度…60%</li> <li>・レポート（意欲）、態度30%</li> <li>・出席状況10%</li> </ul>		CADを使って表現したいパターンを作ることが出来る。 正確な工業用パターン作成で時間短縮が出来る。				

授業科目名	スタイリストワーク I		実務経験	<input checked="" type="radio"/> ヘアメイクの職務経験あり				
対象学科	ファッションビジネス科		担当教員	村上 英輝				
学年/学期	1年/通年	単位数		科目区分	講義			
■授業の目的								
Styling Mapのメソッドを通して、その人に似合うスタイリングを感覚的ではなく、論理的に組むことができるようになる。また、Styling Map検定ジュニアレベルの取得を目指す。								
■授業の概要								
Styling Map検定ジュニアレベル範囲をテキストやワークを用いて理解していく。								
■具体的な授業計画及び学習課題								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	第一章 スタイリングを知ろう	3	授業内容説明、自己紹介					
2	第二章 物の個性を知ろう	3						
3	ワーク	3	グループワーク					
4	第二章 物の個性を知ろう	3						
5	ワーク	3	グループワーク					
6	第二章 物の個性を知ろう	3						
7	ワーク	3	グループワーク					
8	第三章 人と物をスタイリングしよう	3						
9	ワーク	3	グループワーク					
10	ワーク	3	グループワーク					
11	検定対策	3						
■テキスト、教材、参考書		■留意事項（履修条件等）						
プリントの配布		グループワーク						
■成績評価の方法		■最終到達目標						
出席状況20%・授業態度30%・課題/テスト50% 総得点を5段階にし、評価表に照らし合わせる		論理的なスタイリングが出来る Styling Map検定ジュニアレベル合格						

授業科目名	ファッショング販売		実務経験	<input checked="" type="radio"/> アパレル販売の職務経験あり				
対象学科	ファッショングビジネス科		担当教員	産形 友紀				
学年/学期	1年/通期	単位数		科目区分	講義			
■授業の目的								
ファッショング商品知識、販売知識、マーケティング、VMDなどに関するファッショング業界にて必要な基礎知識を身に付ける。ファッショング販売能力検定2級の受検対策。								
■授業の概要								
主に教科書とパワーポイントを使用し、前期は、ファッショング商品の由来や名称を解説。 後期は、販売知識、マーケティング、VMDなど 売り場におけるファッショングビジネスの基礎知識の習得を目指す。								
■具体的な授業計画及び学習課題								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	販売員の必須スキル	3	職業人としての心構え・ファッショング販売員の必修能力・ ファッショング用語の理解					
2	アパレル商品の分類	3	ファッショングの歴史・アパレルの分類・ファッショング感性の 3要素					
3	アイテムの知識「シャツ・ブラウス」	3	定義、分類、名称、ディテール名称					
4	アイテムの知識「ニット・カットソー」	3	定義、分類、名称、ディテール名称					
5	アイテムの知識「スカート」	3	定義、分類、名称、シルエット、ディテール名称					
6	アイテムの知識「パンツ」	3	定義、分類、名称、シルエット、ディテール名称					
7	アイテムの知識「ワンピース」	3	定義、分類、名称、シルエット、ディテール名称					
8	アイテムの知識「ジャケット・コート」	3	定義、分類、名称、ディテール名称					
9	アイテムの知識「サイズ」	3	婦人服、紳士服、子供服					
10	アイテムの知識「紳士服」	3	定義、分類、名称、ディテール名称					
11	アイテムの知識「子供服」	3	定義、分類、名称、ディテール名称					
12	テスト前対策	3	模擬テスト・解答解説					
13								
14								
15								
■テキスト、教材、参考書		■留意事項（履修条件等）						
「ファッショング販売能力検定2級公式テキスト」「ファッショング販売能力検定2級公式問題集」（一般財団法人 日本ファッショング教育振興協会）		日頃からファッショング商品をリサーチすること						
■成績評価の方法		■最終到達目標						
出席状況20%・授業態度30%・課題/テスト50% 総得点を5段階にし、評価表に照らし合わせる		ファッショング販売能力検定2級取得						

授業科目名	ファッショング販売		実務経験	<input checked="" type="radio"/> アパレル販売の職務経験あり				
対象学科	ファッショングビジネス科		担当教員	産形 友紀				
学年/学期	1年/通期	単位数		科目区分	講義			
■授業の目的								
<p>ファッショング商品知識、販売知識、マーケティング、VMDなどに関するファッショング業界にて必要な基礎知識を身に付ける。ファッショング販売能力検定2級の受検対策。</p>								
■授業の概要								
<p>主に教科書とパワーポイントを使用し、前期は、ファッショング商品の由来や名称を解説。 後期は、販売知識、マーケティング、VMDなど 売り場におけるファッショングビジネスの基礎知識の習得を目指す。</p>								
■具体的な授業計画及び学習課題								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	ファッショング販売知識	3	販売スタッフの資質、お客様の知識、販売スタッフの業務					
2	売り場づくり	3	VMDについて マーチャンダイズプレゼンテーション/陳列の基本/什器の種類					
3	売り場づくり	3	店舗コンセプトの具現化、定数定量、VMD計画の実施					
4	マーケティング	3	マーケティングの基礎知識 ファッショング小売業の業種・業態/店舗マーケティングの重要性					
5	マーケティング	3	リテールマーチャンダイジング、デジタルマーケティング					
6	店舗運営管理	3	販売業務と付帯業務、商品管理、在庫管理、キャリアプラン					
7	店舗計数管理	3	計数管理、予算管理					
8	過去問	3						
9	過去問	3						
10	過去問	3						
11	過去問	3						
12	検定振り返り・学年末テスト対策	3						
13								
14								
15								
■テキスト、教材、参考書		■留意事項（履修条件等）						
「ファッショング販売能力検定2級公式テキスト」 「ファッショング販売能力検定2級公式問題集」（一般財団法人 日本ファッショング教育振興協会）		日頃からファッショング商品をリサーチすること						
■成績評価の方法		■最終到達目標						
出席状況20%・授業態度30%・課題/テスト50% 総得点を5段階にし、評価表に照らし合わせる		ファッショング販売能力検定2級取得						

授業科目名	アパレル商品論		実務経験	<input checked="" type="radio"/> アパレル販売の職務経験あり				
対象学科	ファッションビジネス科		担当教員	産形 友紀				
学年/学期	1・2年/前期	単位数		科目区分	講義			
■授業の目的								
<p style="text-align: center;">ファッションの変遷を知り、次シーズンのトレンド予測に基づいた ファッション商品の理解と着こなしまでのスタイリング力の習得。</p>								
■授業の概要								
<p style="text-align: center;">パワーポイントを使用し、トレンドの仕組み、2022SSコレクション解説。 トレンド要素が、実際のコレクションにどう落とし込まれているかを調べ、 年代ごとのトレンド傾向をまとめる。</p>								
■具体的な授業計画及び学習課題								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	トレンドの仕組み	1	授業内容説明、トレンドの仕組み					
2	2021AWトレンド→2022SSトレンド	1	2021AWコレクション視聴→AW商品振り返り					
3	2022SSトレンド	1	2022SSコレクション視聴→SS商品リサーチ					
4	2000年代リサーチ	1	グループワーク					
5	まとめ	1	グループワーク					
6	発表	1	スタイリング発表					
7	2020年代リサーチ	1	グループワーク					
8	まとめ	1	グループワーク					
9	発表	1	スタイリング発表					
10	2025年予測	1	グループワーク					
11	まとめ	1	グループワーク					
12	発表	1	スタイリング発表					
13								
14								
15								
■テキスト、教材、参考書		■留意事項（履修条件等）						
教材は特に指定しないが、日頃からコレクション視聴、ファッションサイト、ファッション雑誌に関心を持ってリサーチすることでリソースを増やす		4人1組・3人1組/グループワーク (1年生2人・2年生2人×7チーム、1年生1人・2年生2人×1チーム、1年生2人・2年生1人×1チーム)						
■成績評価の方法		■最終到達目標						
出席状況20%・授業態度30%・課題/テスト50% 総得点を5段階にし、評価表に照らし合わせる		トレンド予測ができ、それに基づいた スタイリング提案ができる						

授業科目名	アパレルメーリング		実務経験	<input checked="" type="radio"/> パタナーの職務経験あり				
対象学科	ファッショニビジネス科1年		担当教員	濱田				
学年/学期	1年前期	単位数	3	科目区分	実習			
■授業の目的								
服作りの基礎を学ぶ。 基本縫製の習得。ファスナーやポケット付けの習得。								
■授業の概要								
道具や器材の使用方法説明、手縫いとミシン縫製の基礎を学ぶ。 アイテム縫製ではパンツ（裏無し）を制作								
■具体的な授業計画及び学習課題								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	授業説明と基礎ソーイング（ミシン）	3	糸かけ、直線縫い、カーブ縫い					
2	基礎ソーイング（手縫い）	3	玉結び、玉止め、並縫い、釦、ホック					
3	パンツ制作	3	パターントレース					
4	パンツ制作	3	裁断					
5	パンツ制作	3	アイロンかけ、芯貼り					
6	パンツ制作	3	ロックミシン					
7	パンツ制作	3	後ろポケット					
8	パンツ制作	3	脇ポケット					
9	パンツ制作	3	パンツ筒縫い、ファスナー付け					
10	パンツ制作	3	パンツ本縫い					
11	パンツ制作	3	ベルト作成、ベルト付け					
12	パンツ制作	3	ホック付け、完成					
13								
14								
15								
■テキスト、教材、参考書		■留意事項（履修条件等）						
ミシン早見表、手縫い基礎表 縫製工程表（図解） 裁縫道具、筆記用具、製図用具		縫製しやすい素材にはなっているのでアイロンかけや均等に縫う事への意識と意欲が必要。 アイテム縫製の流れを習得と授業内での完成。						
■成績評価の方法		■最終到達目標						
出席状況…10% 授業態度…40% 理解度、作品完成度…50%		ミシンやアイロンなどの器材の正しい使い方を身に付ける。 どの職種でも必要な簡単な縫製やアイロンテクニック、釦付けなどの手縫いをしっかり身に付ける						

授業科目名		スタイリストワーク		実務経験	<input type="radio"/> ヘアメイクの職務経験あり			
対象学科	ファッションビジネス科		担当教員	村上 英輝				
学年/学期	1年/後期	単位数	5	科目区分				
<b>■授業の目的</b>								
ファッションビジネス科の必要な「理論」と「感性」の両軸の習得実践プログラム 企画・コンセプトを体现し、発信する能力を身に付ける								
<b>■授業の概要</b>								
テーマを深掘し、未来の自分像を具現化したものを言葉に変換、デザイン要素に落とし込み、一人一作品、ローブをリメイクする								
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	企画・リサーチ	9						
2	企画・リサーチ	6						
3	企画・リサーチ	6						
4	企画・リサーチ	6						
5	企画・リサーチ	6						
6	作品制作	6						
7	作品制作	6						
8	作品制作	6						
9	作品制作	3						
10	作品制作	6						
11	作品制作	6						
12	作品制作	3						
13	作品撮影	6						
14	作品撮影	6						
<b>■テキスト、教材、参考書</b>		<b>■留意事項（履修条件等）</b>						
なし		なし						
<b>■成績評価の方法</b>		<b>■最終到達目標</b>						
出席・・・20% 参画度・・・20% 課題・・・60%		進級作品展での展示						

授業科目名		セールスワーク	実務経験	<input checked="" type="radio"/> アパレル販売の職務経験あり				
対象学科	ファッショングビジネス科		担当教員	産形 友紀				
学年/学期	1年/後期	単位数		科目区分	演習			
■授業の目的								
ビジネスシーンで求められる言葉遣いや基本マナー、また、販売員の業務内容を学習し、ファッショング販売の現場で必須である販売員の基本行動を習得。								
■授業の概要								
ファッショング販売2級の販売知識、販売技術に基づき、ファッショング販売の仕事の傾向をつかみ、販売スタッフに求められる資質を理解し習得する。基礎力を身につけ、2年次履修予定の実践的授業へと繋げる。								
■具体的な授業計画及び学習課題								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	販売スタッフの基本マナー①	3	授業内容説明、販売員の役割 販売スタッフの基本マナー（接客7大用語、お辞儀、挨拶練習）					
2	販売スタッフの基本マナー②	3	敬語・言葉遣いについて 電話応対、メールの仕方					
3	販売スタッフの基本マナー③	3	お包み、レジ応対、包装について					
4	クレームの種類と対応	3	クレームの種類、対応法、お直しについて メリットピックアップ、ファースト&セカンドアプローチ練習					
5	購買心理の8段階と接客のアウトライン	3	購買心理8段階、お客様別の応対方法					
6	購買心理～待機・アプローチ編～	3	メリットピックアップ、ファースト&セカンドアプローチ練習 (服飾雑貨の接客方法)					
7	購買心理～待機・アプローチ編～	3	メリットピックアップ、ファースト&セカンドアプローチ練習 (素材メリット、柄メリット、加工メリット)					
8	購買心理～待機・アプローチ編～	3	メリットピックアップ、ファースト&セカンドアプローチ練習 (配色の基本技術、色の表現)					
9	まとめ	3	PAL CUP視聴					
10								
11								
12								
13								
14								
15								
■テキスト、教材、参考書		■留意事項（履修条件等）						
「ファッショング販売能力検定2級公式テキスト」 (一般財団法人 日本ファッショング教育振興協会)		日常的にショップへ足を運び 積極的に接客を受ける						
■成績評価の方法		■最終到達目標						
授業参画度30%・ロールプレイング40%・課題30% 総得点を5段階にし、評価表に照らし合わせる		即戦力となる販売知識・技術の習得 ファッショング販売能力検定2級取得						

授業科目名	スタイリストワーク II		実務経験	<input checked="" type="radio"/> ヘアメイクとしての職務経験あり				
対象学科	ファッションビジネス科		担当教員	村上 英輝				
学年/学期	2年/通年	単位数		科目区分	講義			
■授業の目的								
ファッションティエストの8分類を理解し、指定した企業特性、シーズンテーマに合わせたスタイリングスキルの習得。また、単なるコーディネートではなく、ヘア、メイク、雑貨等、トータルでのスタイリングを可能とし、スタイリング力、発信力の向上を図る。								
■授業の概要								
1年次で習得したStyling Mapの内容に加え、ファッションティエストの8分類の理解								
■具体的な授業計画及び学習課題								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	ティエスト8分類の説明	3	授業内容説明、自己紹介					
2	企業/ブランド特性解説	3	アパレル企業5社(27ブランド)解説					
3	企業/ブランド特性解説	3	アパレル企業5社(27ブランド)解説					
4	リサーチ	3	グループワーク					
5	リサーチ/まとめ	3	グループワーク					
6	発表	3	プレゼンテーション					
7	リサーチ	3	グループワーク					
8	スタイリング	3	グループワーク					
9	まとめ	3	グループワーク					
10	発表	3	プレゼンテーション					
11								
12								
13								
14								
15								
■テキスト、教材、参考書		■留意事項（履修条件等）						
プリントの配布		グループワーク、プレゼンテーション						
■成績評価の方法		■最終到達目標						
出席状況20%・授業態度30%・課題/テスト50% 総得点を5段階にし、評価表に照らし合わせる		アパレル企業の特性を理解し、スタイリング表現ができる						

授業科目名	セールスワーク		実務経験	<input checked="" type="radio"/> アパレル販売の職務経験あり	
対象学科	ファッショングビジネス科		担当教員	産形 友紀	
学年/学期	2年/通年	単位数		科目区分	演習

### ■授業の目的

即戦力となる接客知識・接客技術の基本を習得し、客単価、セット率を向上させる販売テクニックを学ぶ。PAL FOUNDATION CUP 入賞を目指し、あらゆるシチュエーションを想定し、プロの販売員としての接客スタイルを身に付け、卒業後、即戦力となる販売技術の習得を目指す。また、今後のアパレル業界では必須のオンラインでの接客スキルの習得のため、インスタライブを想定したロールプレイングを実施。

### ■授業の概要

ファッショング販売に必要な言葉遣いと基本動作・商品説明を学び、ショップに見立てた教室を使用し、ロールプレイングで実践練習を積み、会話力と提案力を習得。  
販売員の業務内容を学習し、実践で求められる基礎的な知識を身に付ける。

### ■具体的な授業計画及び学習課題

週	内容	コマ数	学習課題
1	オリエンテーション コミュニケーションと基本マナー	3	授業内容説明、販売員の役割 販売スタッフの基本マナー（接客7大用語、お辞儀、挨拶練習）
2	美しい言葉遣い、敬語	3	敬語・言葉遣いについて レジ、伝票記入、電話応対の仕方
3	基本動作	3	おたたみ練習、商品の扱い方、試着の仕方、動的待機練習
4	購買心理～アプローチ～	3	購買心理解説 メリットピックアップ、ファースト&セカンドアプローチ練習
5	購買心理～ニーズの聞き出し～	3	ニーズの聞き出し会話トレーニング（褒め言葉、日常会話、共感）
6	購買心理～商品提案～	3	セールスポイント・ベネフィティングポイントについて解説 クロージング
7	シーン別ロールプレイング練習	3	入店からクロージングまで（7分） ・食事、旅行、ライブ、買い物、ネットを見てのご来店
8	テスト①	3	入店からクロージングまで（7分）/フィードバック
9	テスト②	3	入店からクロージングまで（7分）/フィードバック
10			
11			
12			
13			
14			
15			

### ■テキスト、教材、参考書

### ■留意事項（履修条件等）

「ファッショング販売能力検定2級公式テキスト」  
(一般財団法人 日本ファッショング教育振興協会)

日常的にショップへ足を運び  
積極的に接客を受ける

### ■成績評価の方法

### ■最終到達目標

授業参画度30%・ロールプレイング40%・課題30%  
総得点を5段階にし、評価表に照らし合わせる

即戦力となる販売知識・技術の習得  
PAL CUP入賞

授業科目名	ネイル		実務経験	<input checked="" type="radio"/> ネイリストとしての職務経験あり				
対象学科	ファッションビジネス科2年		担当教員	松田 薫				
学年/学期	2年前期	単位数		科目区分	実習			
■授業の目的								
<p>トータルコーディネートの一環として、イメージに合わせたネイルの提案。</p> <p>ネイルの基本的な知識を習得する。</p>								
■授業の概要								
<p>1. ネイルケアの技術習得とネイルケアの必要性や爪疾患に関して学び、爪トラブルの対応でき、アドバイスできることを目指す。</p> <p>2. ジェルネイルの技術習得とネイルデザイン（コーディネートも含め）を提案するスキルを磨く。</p>								
■具体的な授業計画及び学習課題								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	材料配布、名称と用途、カットスタイルなどの説明	3	ウッドスティック削り、チップでカットスタイル					
2	名称、用途の復習、爪トラブル疾患	3	相モデルのファイリング、シャイニング、ケア（					
3	セルフケア、相モデルケア、カラーリング	3	単色カラーリング、ケア（ニッパーカッティング					
4	道具の持ち方、動かし方の確認	3	ポリッシュアート（ラメグラデ、マーブル、フレンチ、ペイント、エンボス、ストーン）					
5	ジェルの特徴、施術工程の説明	3	ドライケア（ジェル時）、単色塗り、ソーグオフ					
6	ジェル/単色、マーブル4色	3	ストライプグラデーション、大理石、ピーコック、					
7	ジェル/グラデーション、パーツのせ	3	グラデーション3種、パーツとストーン乗せ					
8	ジェル/ミラー、マグネット、転写など特殊素材	3						
9	ジェル/ギンガムチェック、タータンチェック、ツイード、アニマル柄、ロゴ、イラスト	3						
10	ジェル/自分でデザインしてアート	3	自分の好みや洋服に合わせてコーディネート					
11	ジェル/自分でデザインしてアート	3	自分の好みや洋服に合わせてコーディネート					
12	チップ制作	3	チップ3枚にそれぞれ違ったデザインを施す					
■テキスト、教材、参考書		■留意事項（履修条件等）						
プリント配布								
■成績評価の方法		■最終到達目標						
授業態度50%、提出課題30%、出席状況20%		コーディネートを通して、相手にネイルのアドバイスができるようになる						

授業科目名	セールスワークII		実務経験	<input checked="" type="radio"/> アパレル販売の職務経験あり				
対象学科	ファッションビジネス科		担当教員	産形 友紀				
学年/学期	2年/後期	単位数		科目区分	演習			
<b>■授業の目的</b>								
即戦力となる接客知識・接客技術の基本を習得し、客単価、セット率を向上させる販売テクニックを学ぶ。PAL FOUNDATION CUP 入賞を目指し、あらゆるシチュエーションを想定し、プロの販売員としての接客スタイルを身に付ける。								
<b>■授業の概要</b>								
購買心理を理解し、販売員の行動、接客のアウトラインを掴む。 ショップに見立てた教室を使用し、お客様役、販売員役に分かれ、 ロールプレイングで実践練習を積み、対応力と提案力の向上を目指す。								
<b>■具体的な授業計画及び学習課題</b>								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	ロールプレイング	3	PAL CUPにむけた練習					
2	購買心理に合わせた接客のアウトライン①		アプローチ、ニーズの引き出し					
3	購買心理に合わせたアウトライン②		商品提案、NOの解消、比較検討					
4	購買心理に合わせたアウトライン③		客単価、セット率アップ					
5	購買心理に合わせたアウトライン④		顧客を作るクロージング、お見送り					
6	購買心理に合わせたアウトライン⑤		顧客に繋がるお礼状、アプローチDM					
7	テスト		ロールプレイング実施 @6分					
8	テスト		ロールプレイング実施 @6分					
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
<b>■テキスト、教材、参考書</b>		<b>■留意事項（履修条件等）</b>						
「ファッション販売能力検定2級公式テキスト」 (一般財団法人 日本ファッション教育振興協会)		日常的にショップへ足を運び 積極的に接客を受ける						
<b>■成績評価の方法</b>		<b>■最終到達目標</b>						
授業参画度30%・ロールプレイング40%・課題30% 総得点を5段階にし、評価表に照らし合わせる		即戦力となる販売知識・技術の習得						

授業科目名	メイク		実務経験	<input type="radio"/> メイクの職務経験あり				
対象学科	ファッションビジネス科2年		担当教員	田渕 美樹				
学年/学期	2年/後期	単位数	3	科目区分	実習			
■授業の目的								
<p>基本のベースメイクから、フルメイク応用までのメイクアップ術を習得し、 スタイリングに合わせたメイクの提案、施術ができる。 トータルスタイリング提案力を磨く。</p>								
■授業の概要								
■具体的な授業計画及び学習課題								
週	内容	コマ数	学習課題					
1	応用メイク	3						
2	応用メイク	3						
3	応用メイク	3						
4	応用メイク	3						
5	冊子掲載内容企画	3						
6	冊子掲載内容企画	3						
7	冊子掲載内容企画	3						
8	撮影	3						
9	撮影	3						
■テキスト、教材、参考書		■留意事項（履修条件等）						
配布テキスト、各自購入教材								
■成績評価の方法		■最終到達目標						
出席率30%・授業態度40%・課題完成度30%		テーマ、スタイリングに合わせた メイクの施術、提案ができる。						